

# 卒論チェックシート

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

## 目的

卒論本文に関して、以下の項目 1) ～ 5) に関する記述が必要です。5 項目についての記述も卒論評価の 1 部とします。この卒論チェックシートを完成させ、卒論提出前に記入漏れがないことを確認してください。なお、このシートは卒論審査資料の一つとなります。卒論と同様にしっかり完成させ、卒論と一緒に主査と副査へ提出してください。

## 提出方法

1. チェック項目について明確・簡潔に回答を記入する。また、対応記述を含む本文のページ番号を明記する（例：3 ページ, 3,5,7 ページ, 3-10 ページなど）。全ての項目について回答し、卒論チェックシートを完成させる。
2. 完成した卒論チェックシートを、卒論を収めたファイルの最後尾に綴じる。
3. 主査（1 名）と副査（2 名）に卒論と卒論チェックシートを綴じたファイルを提出する（従って、卒論とともに卒論チェックシートも 3 部用意する、卒論チェックシートの記述内容は 3 部とも同一で良い）。

### 1) 研究の目的・目標を明確に設定できる。（卒論評価項目 1）

**【チェック項目】** 研究目的・目標を説明してください。

---

---

---

---

本文におけるページ番号： \_\_\_\_\_

### 2) 人類や社会に望まれ、貢献する研究目標を立てられる。（卒論評価項目 2）

**【チェック項目】** 論文に示された研究目標が、情報工学を応用し人類・社会に貢献するものであることを説明してください。（社会との関わりなど）

---

---

---

---

本文におけるページ番号： \_\_\_\_\_

（裏にもあります）

- 3) 研究の目的・目標を実現するための具体的研究方法を示し、実行できる。(卒論評価項目3)

**【チェック項目】** 論文に示された研究方法の具体性や、研究目的・研究目標の達成を目指すためにどのような意味がありそのような研究方法を採用したのか説明してください。

---

---

---

---

本文におけるページ番号：\_\_\_\_\_

- 4) 研究の内容が、情報工学技術の発展や応用に貢献するものである。(卒論評価項目4)

**【チェック項目】** 論文で示された研究内容が、情報工学技術の発達や応用に貢献するものであることを説明してください。(研究内容の新規性など)

---

---

---

---

本文におけるページ番号：\_\_\_\_\_

- 5) 卒業論文、卒業論文発表において、卒業研究の目的・目標、研究方法、研究成果が論理的に述べられる。(卒論評価項目6)

**【チェック項目】** 論文で示された研究成果について説明してください。

---

---

---

---

本文におけるページ番号：\_\_\_\_\_

**【チェック項目】** 卒業研究の目的・目標、研究方法、研究成果がどのような章立てで述べられているか説明してください。

---

---

---

---

以上